

第5回 ニッケピュアハート エッセー大賞

<高校の部 優秀賞>

武将と出逢う

鈴木信人

「いざ、出陣！」

今、名古屋城でこの言葉を聞かぬ日はない。

名古屋おもてなし武将隊

昨年11月に名古屋市の失業者雇用事業を利用して結成された。彼らは、この地ゆかりの武将になりきり、おもてなしをする。歴史に関する知識も日々高めていて、甲冑を着ている時は終始なりきり、彼らとの会話も面白く、何よりイケメン。メディアに取り上げられる機会も多く、今では女性を中心とした追っかけがいるほどの人気。実は私もその追っかけの中の一人。数少ない男ファンだ。

彼らを初めて知ったのはテレビだった。もともと戦国武将が好きだった私は衝撃を受け、春休みを利用して会いに行き、彼らがただ者ではないことを知り、気付けば毎週のように城に通っている。彼らの存在が生活の一部となり、私の生きる活力となっている。

高次の二学期。私は不登校をしていた。何をするにも悲観的になり、何に対してもやる気が出なかった。なんとか周りの支えもあり、再び学校に行くことができたが、生きがいを見つけられなかった。そんな時に出逢ったのが、武将隊だった。彼らの魅力に惹かれる度に、私は生きている実感を持ち、今では生きる事が幸せだと思えるようになった。偶然にも思えるこの出逢いが、私の生き方そのものを変えたのだ。いや、偶然なんかではない。

人は出逢うべき時に出逢うべき人と出逢う

これはある漫画での言葉。全ての出逢いには必ず意味があるということだ。もちろん、意味はあった。生きる活力を得て、迷っていた進路も定まり始めた。歴史を学ぶ。

この出逢いは、人生のターニングポイント。これからも大切にしたい。皮肉にも、大学に合格し歴史を学び始めるころには、彼らはもういない。だから、追っかけも受験勉強も両立したいと思う。別れた後に、私が歴史の素晴らしさを伝えるために。

いざ、出陣！